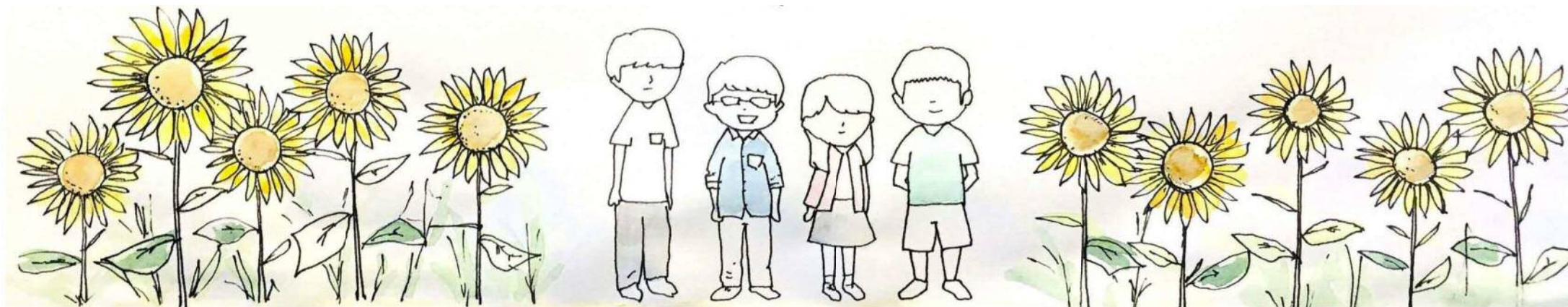


第1回のワークショップのまとめと感想

信州大学工学部建築学科 羽藤研究室



Aグループ 将来どんな活動が地域に必要か考えよう

コミュニティ

- ・趣味を生かした活動がしたい
- ・仕事終わりに交流できる地域
- ・隣近所が声を掛け合って楽しく生活したい
- ・若槻支所の建て替え

人が集まる

- ・サントミューゼのような施設が欲しい
- ・買い物弱者対策
- ・大勢の人が集まる場所・施設が欲しい（大型商業施設など）
- ・親子でゆっくり遊べる場所（無料駐車場）
- ・城山の少年科学館を若槻に移設する
- ・シャトルバスの運行
- ・バス停にイスやベンチの設置

スポーツ

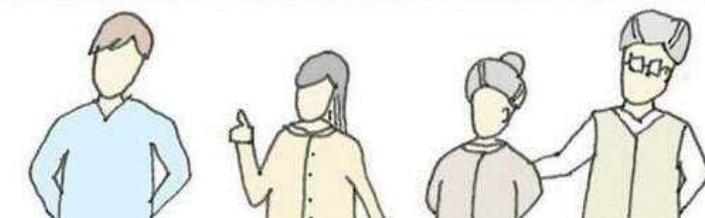
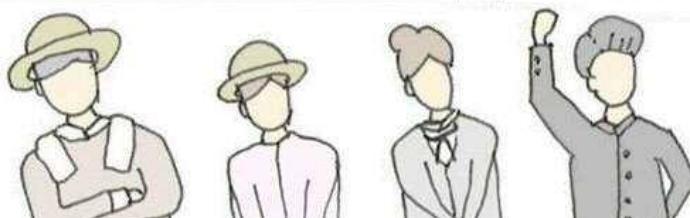
- ・充実したスポーツ施設が欲しい
- ・健康管理ができる
- ・北部レクレーションの利用料が高い。無料化してほしい。
- ・楽しく散歩、ウォーキングできる地域
- ・北部市民プールを存続してほしい

お年寄り

- ・独居老人の声かけ
- ・健康で長生きできる地区
- ・空き家の活用

子供

- ・不登校をなくす
- ・児童館の拡充、エアコンの設置
- ・児童館に皆が入れて、無料化。
- ・親が働きやすい
- ・少子化を防げる地域
- ・学校を授業後に解放
- ・いまある施設を使う



Bグループ 将来どんな活動が地域に必要か考えよう

災害に備え

- ・防災訓練を実施する
- ・災害に強い施設が重要（避難場所等）

空き家対策

- ・空き家対策（空き家になると、倒壊の危険性や鳥獣が住処としてしまう）
- ・空き地や荒野のない地区に
- ・遊休土地の有効活用（地区の中心に近いところにも遊休地がある）

農業の活用

- ・できるだけ自給自足ができるようなコミ若農園
- ・地産地消（地元の農産物は地元で消費する）
- ・若槻の自然、里山などを利用して「いこいの場」を作る

【発表で出た意見】

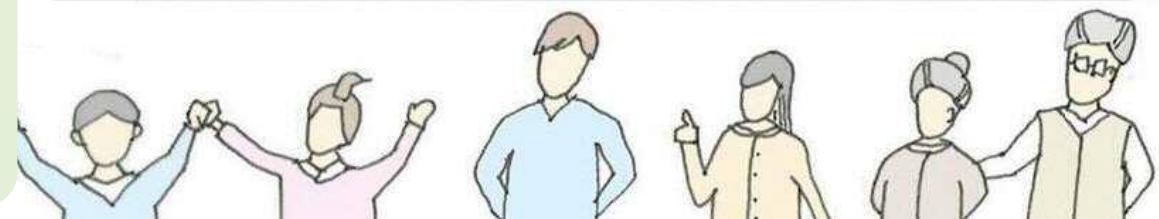
- ・若槻地区は春季のスポーツ大会や運動会などのクラブ活動が盛んに行われている
- ・若槻地区は農業が盛ん
- ・子どもと高齢者の両方に対する支援として、見守りを行う
- ・交通弱者のためにも、交通インフラを含めた支援を行う
- ・空き家対策では家だけでなく利用されていない土地の活用も考える

地域の交流として

- ・もっと「公共施設」を知ることと利用を進めて有効活用したい
- ・学校等の体育館や図書館の一般開放、だれでも使用できるようにする、合わせて、図書館では一般からの本の寄付の受付を行う
- ・学校のエアコン設備、大型でなく小型のものでもよいので、今年のような猛暑になると子どもの体調が不安なためできるだけ迅速な対応が必要
- ・保育園の充実化（現在、保育園が不足しているのではないか）
- ・クラブ活動や、地区的スポーツ大会、大運動会の実施

子育て支援・高齢化について

- ・弱者支援
- ・人との交流の場、趣味、勉強会などサークル活動を多くする
- ・人材の活用（趣味、スポーツ、農業、勉強など、地元の人が講師になる）
- ・年代を超えて挨拶が気軽にできる環境
- ・子育てのし易いコミュニティー
- ・子ども食堂やフードドライブでの食糧支援
- ・お年寄りと子ども達との交流
- ・一人住まいの高齢者の見守り
- ・交通インフラの整備（公共交通etc.）



Cグループ 安心・安全な若槻

地区の人口を増やす

- ・空き家対策
- ・農地から宅地への変更
→後継者に家を建てたいのに出来ない
- ・イノシシとハクビシン
- ・山林の保全
- ・地区の役員の仕事を減らして欲しい

高齢者

- ・自動車や農機のシェアリング
- ・高齢者が運転免許返しやすいよう
- ・高齢者の足の確保
- ・料理自慢
- ・高齢者が農作業しやすくなると良い

理想の公園

- ・安心安全な自然公園
- ・犬の散歩時、糞の片づけをきちんとして欲しい
- ・ドックラン
- ・ボールの使える公園
→制限多い
- ・球技（野球）出来る公園
- ・農産物自慢（販売）

情報共有

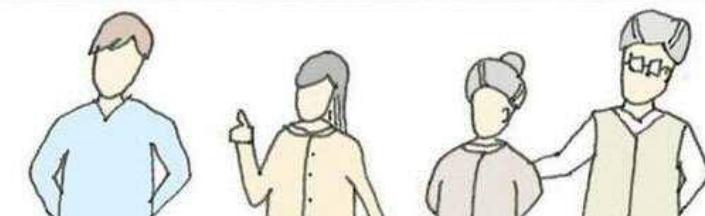
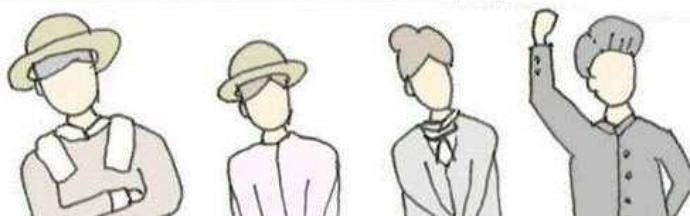
- ・年中行事
- ・飲み会で交流
→アルコール有無両方のパターンで
- ・世代間交流できるイベント
- ・大学と連携したプロジェクト

安全

- ・子どもの笑い声が聞こえる若槻に
- ・子どもの安全パトロール
→民間の入浴施設で防犯必要
- ・夜間のパトロール活動
- ・定期的な防災訓練
- ・交番を設置（追加）希望
→地区に1つしかない。
南側にも欲しい

【発表で出た意見】

- ・昭和の森公園で若槻を代表するスポーツが出来るようにしたらどうか
- ・ホタル観賞ができる所がある。地域の負担が高いので課題を解決して活性化につなげたらどうか
- ・「子供もおじいちゃん・おばあちゃんも笑い声が聞こえる若槻」にしていきたい
- ・有線電話の廃止があり今後の情報共有に不安



Dグループ 将来どんな活動が地域に必要か考えよう

交通

- ・交通安全
- ・車がなくても人に会ったり買い物ができる
- ・公共交通の利用について
- ・高齢者坂上の交通
- ・坂上のミニバス（タクシー）みたいなもの
- ・ぐるりん号

農地

- ・菜園を借りて畠をやりたい
- ・農地と都市との融合（気軽に農業を）
- ・休んでいる農地の利用

自然

- ・木タル
- ・自然と都市との融合
(豊かな自然を活かした地域)
- ・自然を大切に環境を守る

交流

- ・お祭り・スポーツなどのイベント
- ・交流の機会
- ・交流の場とイベント
- ・地域・世代を超えて
助け合いができる地区にしたい
- ・公園でイベント等をやりたい
- ・老若男女集うことができる機会・場
- ・街のことを知る場所がほしい
- ・スポーツを通じて地区内の交流を
- ・フィットネスセンター
- ・若い人が地元に残れるような
- ・男性が引きこもらない
- ・保育園から大学まで教育機関を活かす

教育

- ・子供の視点で盛り上げる
- ・子供の名前
- ・中高生の自習場所
- ・多様な子供が元気に育つ
- ・子連れでどこへでも行ける
- ・中学生・高校生と高齢者との交流
- ・中・高生とつながっている
- ・古代～近世、現代、歴史を共有し
未来につなげる

支えあい

- ・役員が決めやすい
- ・消防団人員不足
- ・誰かの（に）おまかせにならない（自分で考えて動ける）
- ・災害時に困らない生きた情報
- ・がんじがらめの個人情報にしばられない
- ・困った人が、困った・助けてを言いやすい
- ・自然な形で支えあえる地域
- ・登下校をみんなで見守れる（車での送り迎えでなく）地域



Eグループ 将来どんな活動が地域に必要か考えよう

人が集まる（住民が増える）街づくり

近所のつながりをもっと大切に

- ・子育て中のお母さん達が情報交換できる集まり
- ・子育てが充実する街
- ・子どもが自由に遊べる（目を離しても安全）
- ・子ども達の安全面
- ・高齢者の方と子ども達の触れ合い
- ・子ども（児童館）と高齢者（デイサービス）のセット施設
- ・気軽に飲みに出られる
- ・皆が集まる本気のカフェを公共施設で
- ・若い人が参加したくなるサークル作り
- ・フリーマーケットがしたい

もっと知る機会

- ・公共施設を利用している方はどのくらいいるのか
- ・どんな公共施設があるのか
- ・HPで公表？

その他

- ・公共交通機関の充実
- ・地区の役員決めの平等化
- ・役職の一部有料化
→そのための利益を何かで出す

【発表で出た意見】

- ・「近所のつながりをもっと大切にして人が集まる街づくり」に関する意見が多く出された
- ・子育てに関してお母さん同士で情報交換できたり、子どもを地域で見守れる仕組み
- ・子どもと高齢者が交流できるような場（児童館とデイサービスセンターのセット）
- ・公民館を一部リノベーションして地域の人が気軽に飲みにいける本物の飲食店を作ったり、空家の有効活用など
- ・公共施設について知る機会がもっとあると良い。施設の利用状況など。HPで情報発信するのも有効ではないか
- ・この他、地域役員の負担が大きく、公平性が大切という意見も

施設の有効活用

- ・公民館の一部リノベーションで飲食店に
- ・公民館をスーパーにする（委託事業者にまかせて）
- ・レジジャー施設みたいなものが欲しい
- ・空き家をうまく利用してみては



第1回WSグループワーク全体のまとめ

暮らし

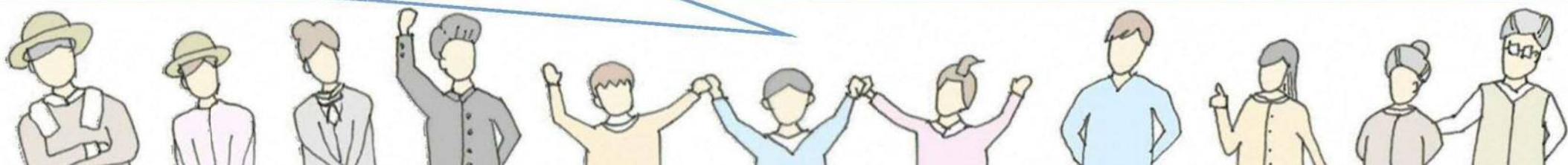
- 地域で子供たちを見守り、子供たちが安心できる場所にしたい
- 親子でゆっくり遊びたい
- 子育てについて情報交換ができるようにしたい
- 趣味を生かした活動がしたい
- 住民による農業をもっと活用したい
- 近隣で声をかけ合い楽しく生活したい

街並み

- 空き家・空地を活用したい
- 大勢の人が集まる場所が欲しい
- 楽しく散歩やウォーキングをしたい
- 自然を大切にし、それを活かしたい
- 自由に利用できる公園が欲しい
- 公共施設を気軽に利用できるようにしたい

地域交流

- 子供たちと高齢者のような世代を超えた交流をしたい
- 趣味や勉強会のようなサークル活動がしたい
- 大学や高校と連携したプロジェクトがしたい
- お祭りやスポーツ大会のような交流を盛り上げたい
- 飲み会による交流がしたい
- 防災訓練を定期的に行い、住民のつながりを



信大生の感想・意見

- 新たなものではなく現状あるものをいかに維持・活用するかという意見が多くみられた
- 子どもたちを基準とした意見が多くみられ、今後の話し合いのテーマの一つになると思う
- 世代を超えた交流イベントやその会場となる施設について具体的に議論していくたい
- 出てきた活動と現存する施設を合わせて『新たな』利用について考えていきたい

